

# 山中よしはる



【発行・編集】山中よしはる後援会事務所

甲賀市水口町八田368番地 TEL: 0748-62-2982 FAX: 0748-63-1061  
携帯: 090-8886-8813 E-mail: yamanakayoshiharu@gmail.com

## じあいさつ

皆様こんにちは。  
近年積雪を心配することは少なかつたのですが、1月15・16日には何十年ぶりの大雪に見まわれ、農作物やビニールハウスの倒壊など被害に合われました皆様にはお見舞いを申し上げます。  
待ち遠しかった春が、梅や桜の便りと共にやって参りました。皆様方におかれましてはお元気に過ごしのこととお喜び申し上げます。



## 新庁舎完成間近

皆様方の念願でありました庁舎の完成も間近になってきました。5月8日の連休明けにはほとんどの部局が移転し、甲南庁舎の上下水道部と教育委員会事務局も平成30年2月13日には移転し、全面的に業務を開始されます。

この建物の特徴は、震度7を震度4に軽減できる免震装置が施工され、3階に会議室兼災害対策室の常設とともに、災害時には市民の皆様の避難所としての機能を充実させていることです。

災害用備蓄として、飲料水や非常食とともに、資機材倉庫を、また地下には雨水槽、雑用水槽、非常時汚水槽を完備しています。

消防署や合同庁舎、県警などの集中する一体を、市の防災エリアとして整備しようとする、大きな視野での展開です。人口減少対策としてのコンパクトシティ

によるまちづくり構想にも適っています。

※コンパクトシティ  
中心部に社会基盤の集中投資をする都市のこと。地方では少子高齢化が進み、自治体の財政難などを背景に模索が加速化している。青森市、富山市が先駆例。



## 給食センター について

今般、前市長が進めていました(仮)西部給食センター「西・給食センター」の設置場所を、商業地化してきたので見直すと、現市長は国が決定していた交付金

の内定を辞退しました。「西・給食センター」は災害時の炊き出しはもちろん避難場所としても機能を発揮します。経済的發展と市民の安心、安全のどちらを優先するのか、今後提案される新建設予定地がこれ以上の機能を有するのか、さらには、現跡地をどう活用されるのか、市民の関心が高まっています。多分全国の自治体でも注視していると思います。それだけ根本的な問題だと考えています。  
どこに建設するかは別にしましても、現給食施設は老朽化しており問題も出ています。支払いに有利な合併特例債の期限は平成31年3月末であります。建設期間も考慮し今年中に用地を確保するとしています。



# 甲賀市の自慢

先駆的、すばらしい取組み

・第2子保育料無料化

(低所得世帯、現在は半額、県内初)

・放課後児童クラブ

(専用区画面積2㎡以上

確保、県内1、伴谷児童

クラブ9月完成)



工事中の伴谷児童クラブ

- ・英語検定受検補助 (中学生全員、全額、県内唯一、小学生には漢字検定全額補助・他市も実施)
- ・聴覚検査助成 (全新生児、生後2日以内、県内初)

・多胎妊婦健診助成 (通常14回に5回追加、県内初)

・広島平和記念事業 (小学6年生、記念式典参加など、県内唯一)

・セーフコミュニティ推進事業

(事故やけがに対し科学的

の根拠に基づき予防対策を講じる、交通事故

対策、自殺対策等、県内唯一、国内13番目)

・生ごみ堆肥化事業

(全市域県内唯一、CO<sub>2</sub>削減、資源循環型社会、

焼却炉の長寿命化)

・ICT教育環境整備事業

(小・中学校にタブレット、電子黒板、デジタル教科書など装備)

・小・中学校空調設備、洋式トイレ設置事業

(全教室にエアコン、和式トイレの一部洋式化、

3年計画)

## 29年度の主な事業

・コミュニティバス路線網改編事業 (貴生川駅・庁舎・甲賀病院間の幹線化、乗車率の低い路線のデマンド(予約)化、伴谷は

該当せず、10月から)

・コミュニティバス路線網改編事業

(貴生川駅・庁舎・甲賀病院間の幹線化、乗車率の低い路線のデマンド(予約)化、伴谷は

該当せず、10月から)

・住宅リフォーム事業 (子育て・定住促進にあ

ついで補助、県内一位の総額、市外からの移住、

店舗もOK)

・ふるさと納税推進事業 (返礼品に市内物産品を

活用することにより地域経済の活性化、一億円

目標、5000万円分返礼、約3400万円

・ふるさと納税推進事業

(返礼品に市内物産品を活用することにより地域経済の活性化、一億円

目標、5000万円分返礼、約3400万円

・ふるさと納税推進事業

(返礼品に市内物産品を活用することにより地域経済の活性化、一億円

目標、5000万円分返礼、約3400万円

・ふるさと納税推進事業

(返礼品に市内物産品を活用することにより地域経済の活性化、一億円

目標、5000万円分返礼、約3400万円

・ふるさと納税推進事業

(返礼品に市内物産品を活用することにより地域経済の活性化、一億円

目標、5000万円分返礼、約3400万円

・ふるさと納税推進事業

(返礼品に市内物産品を活用することにより地域経済の活性化、一億円

目標、5000万円分返礼、約3400万円

・ふるさと納税推進事業

(返礼品に市内物産品を活用することにより地域経済の活性化、一億円

目標、5000万円分返礼、約3400万円

の増収予定)

・(仮)甲賀北地区工業団地整備事業

(甲賀町、約16ha造成

工事、平成31年の亀山

・四日市ジャンクショ

ン間開通前の完成)

・信楽地域の水洗化推進

事業

(公共型と合併浄化槽型

の地域分けにより推進、

農村集落排水もされて

いますが新規にはされ

ません)

※ふるさと納税

□メモ

自らの住民税額の2割程

度を上限に、気に入った地

域に寄付金を納め、その額

から2千円少ない額が居住

地の地方税から控除される。

目的は故郷など地方自治

体への応援。納税先の自治

体から寄付額の3割から4

割程度の物産品が返礼とし

て贈られ、お徳感がある。

住んでいる自治体の税収

減少額の75%は国から補て

んされるが、ふるさと納税

できる個人に便益を受ける

機会を与えているという課

題もある。つまり返礼品の

上限額は地方税の納付額に

連動するから、高額納税者

ほど便益は大きい。また甲

賀市は50%の返礼率で実施

することなので、他市の

本制度利用市民に対して

自重をお願いしづらい。

ただ主旨はすばらしいので、

しっかりとした運用が求め

られる。

## あしがき

春日区深連寺の掲示板に、「大切な人、あなたのことは忘れない。」と書かれました。あなたにとって大切な人はどなたでしょうか。年度の切りかえ時を迎え、反省と共に大きな希望を胸に新年度の準備にお忙しい方も多いことでしょう。

もうすぐ桜の開花を迎えます。うきうきする心の片隅に、大切な人のことを思いやりながら、一步一步前に進めたらなと思います。皆様のご意見、ご要望をお待ちしています。

